

表現の幅を広げる超広角ズームレンズ“RF16-28mm F2.8 IS STM”を発売
優れた携帯性とLレンズに迫る高画質を両立

キヤノンは、「EOS R システム」の交換レンズ「RFレンズ」の新製品として、超広角ズームレンズ“RF16-28mm F2.8 IS STM”を 2025年2月下旬に発売します。



RF16-28mm F2.8 IS STM



超広角を生かしたダイナミックな表現が可能



携帯性に優れた小型・軽量設計

“RF16-28mm F2.8 IS STM”は、小型・軽量設計による優れた携帯性とLレンズに迫る高画質^{※1}を両立した「RF28-70mm F2.8 IS STM」（2024年9月発売）と同コンセプトのシリーズの超広角ズームレンズです。静止画・動画ともに、強い遠近感と超広角ならではの画角を生かした作品作りを楽しむことができます。本レンズをラインアップに加えることで、ユーザーの幅広いニーズに応えます。

■ズーム全域での開放絞り値 F2.8 と携帯性に優れた小型・軽量設計を実現した超広角ズームレンズ

IS（手ブレ補正機構）ユニットの小型化や沈胴構造の採用、カメラ側の電子歪曲収差補正の活用により、ズーム全域での開放絞り値 F2.8 を達成しながら、全長約 91.0mm（収納時）、質量約 445g の小型・軽量設計を実現しています。優れた携帯性に加え、焦点距離 16mm から 28mm の超広角のズーム域により、限られた空間や建物内で周囲を広く写しこんだ撮影、広大な風景などの撮影において、ダイナミックな遠近感を生かした表現が可能です。

■自然で美しいボケ味とLレンズに迫る高画質を実現

ズーム全域での開放絞り値 F2.8 により、自然で美しいボケ味を生かした撮影が可能です。また、大口径の「レプリカ非球面レンズ」の最前面への配置など、「非球面レンズ」2 枚、「UD レンズ^{※2}」4 枚を含む 13 群 16 枚の光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差を低減し、画面全域でLレンズに迫る高画質を実現しています。

■STM（ステッピングモーター）と手ブレ補正機構の搭載による快適な撮影

リードスクリュータイプの STM 搭載により、静止画撮影時の高速・高精度な AF に加え、動画撮影時には静かで滑らかな AF を実現します。また、レンズ内光学式手ブレ補正機構により 5.5 段^{※3}、ボディ内手ブレ補正機構を搭載している EOS R シリーズのカメラとの組み合わせでは協調制御^{※4}を実現し、中央 8.0 段^{※5}、周辺 7.5 段^{※5}の手ブレ補正効果を発揮します。さらに、広角特有の画像周辺のブレを改善する周辺協調制御^{※6}にも対応し、手持ち撮影など手ブレが発生しやすいシーンにおいても快適な撮影を実現します。

※1 「RF15-35mm F2.8 L IS USM」（2019年9月発売）に迫る画質ですが、焦点距離の違いによる画角の違いや、レンズのサイズ・質量の違いがあります。小型・軽量で手軽に持ち運べることを重視し、沈胴構造を適用した本レンズに対し、「RF15-35mm F2.8 L IS USM」はLレンズの設計思想に基づき、堅牢性・防じん性に更に優れているほか、ASC（Air Sphere Coating）・SWC(Subwavelength Structure Coating)の採用や、操作性に優れた専用のフォーカスリングを採用している点など、プロユースを考えたレンズとなっています。

※2 UD（Ultra low Dispersion=特殊低分散）ガラスを用いたレンズ。

※3 CIPA2024 規格。焦点距離 28mm、「EOS R8」（2023年4月発売）使用時、Yaw/Pitch 方向。

※4 協調制御対応カメラはキヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。

※5 CIPA2024 規格。「EOS R1」（2024年11月発売）装着時、焦点距離 28mm、Yaw/Pitch/Roll 方向。

※6 静止画撮影時のみ対応。周辺協調制御対応カメラはキヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。

製品名	価格	発売日
RF16-28mm F2.8 IS STM	オープン価格	2025年2月下旬

-
- 一般の方のお問合せ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0002 (直通)

〈“RF16-28mm F2.8 IS STM”の特長〉

1) ズーム全域での開放絞り値 F2.8 と携帯性に優れた小型・軽量設計を実現した超広角ズームレンズ

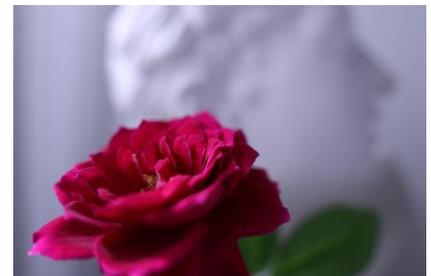
- IS（手ブレ補正機構）ユニットの小型化や沈胴構造の採用、カメラ側の電子歪曲収差補正の活用により、ズーム全域での開放絞り値 F2.8 を達成しながら、全長約 91.0mm（収納時）、質量約 445g の小型・軽量設計を実現。
- 優れた携帯性に加え、焦点距離 16mm から 28mm の超広角のズーム域により、限られた空間や建物内で周囲を広く画面に写しこんだ撮影、広大な風景などの撮影において、ダイナミックな遠近感を生かした表現が可能。
- 「RF28-70mm F2.8 IS STM」と併用することにより、超広角 16mm から中望遠 70mm[※]までのさまざまな撮影シーンを 2 本のレンズでカバーすることが可能。
- 焦点距離 28mm 時、最短撮影距離 0.2m、最大撮影倍率 0.26 倍を実現し、被写体に迫ったクローズアップ撮影が可能。



焦点距離 16mm



焦点距離 28mm



表現力豊かなクローズアップ撮影が可能

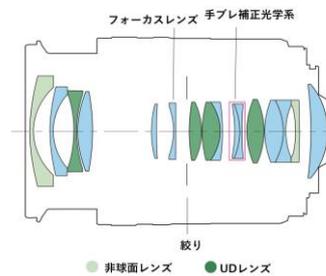
※ APS-C サイズカメラ装着時の 35mm 判換算の焦点距離のイメージは、約 26mm-112mm 相当。

2) 自然で美しいボケ味と L レンズに迫る高画質を実現

- ズーム全域での開放絞り値 F2.8 により、自然で美しいボケ味を生かした撮影が可能。
- 大口径の「レプリカ非球面レンズ」の最前面への配置など、「非球面レンズ」2 枚、「UD レンズ」4 枚を含む 13 群 16 枚の光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差を低減し、画面全域で L レンズに迫る高画質を実現。
- 開放絞り値 F2.8 の明るさと EOS R シリーズの「デュアルピクセル CMOS AF」との組み合わせにより、静止画・動画ともに低輝度でのシーンでも被写体を逃さずに捉えることが可能。



自然で美しいボケ味を実現



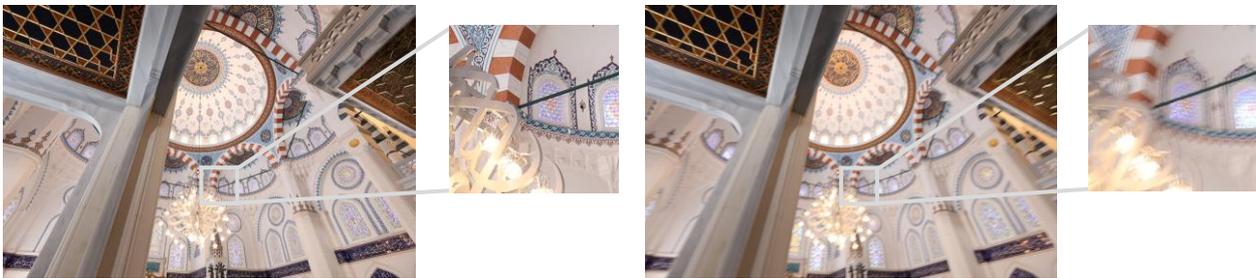
“RF16-28mm F2.8 IS STM”の光学構成図（焦点距離 16mm 時）

3) STM (ステッピングモーター) と手ブレ補正機構の搭載による快適な撮影

- リードスクリュタイプ STM の搭載により、静止画撮影時の高速・高精度な AF に加え、動画撮影時には静かで滑らかな AF を実現。
- レンズ内光学式手ブレ補正機構により 5.5 段、ボディー内手ブレ補正機構を搭載している EOS R シリーズのカメラとの組み合わせでは協調制御を実現し、中央 8.0 段、周辺 7.5 段の手ブレ補正効果を発揮。
- 広角特有の画像周辺の手ブレを改善する周辺協調制御にも対応し、手持ち撮影など手ブレが発生しやすいシーンにおいても快適な撮影を実現。
- 動画電子 IS^{※1}との協調制御により、動画撮影時に強力な手ブレ補正効果を発揮。
- 動画撮影時のフォーカス操作に伴う画角変動を、カメラで電子的に補正する「フォーカスブリージング補正^{※2}」に対応し、より安定した構図での動画撮影が可能。

※1 動画電子 IS 使用時は、撮影範囲が狭くなります。

※2 フォーカスブリージング補正機能を搭載したカメラ装着時。動画撮影モードのみ使用可能。



手ブレ補正：ON

手ブレ補正：OFF

(「EOS R6 Mark II」(2022 年 12 月発売) で撮影、焦点距離 16mm、1/2 秒、F8、ISO160)

4) 優れた耐久性と耐衝撃性により信頼性を確保

- 小型・軽量化を実現しながら、優れた耐久性と耐衝撃性を実現。
- 操作リングやマウント接合部に防じん・防滴構造を採用[※]。屋外の突然の雨や水際撮影でも安心して使用可能。チリやホコリが入りやすい沈胴式のレンズ部分をカバー。

※ スイッチ部のみ防じん・防滴構造は非採用となります。また、水滴やほこりの浸入を完全に防ぐものではありません。



防じん・防滴構造の採用箇所

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

<https://personal.canon.jp/product/camera/rf/rf16-28-f28>

〈ご参考：環境に配慮した取り組み〉

キヤノンは、従来の包装設計思想を維持しながら、包装材の脱プラスチック対応[※]を進めています。詳しくは、キヤノンホームページをご覧ください。

<https://global.canon/ja/sustainability/environment/business/imaging/>

※ ラベル、コーティングや接着剤に用いる材料は除く。